

越谷市立小中一貫校整備 PFI 事業  
(仮称)川柳学園建設・解体工事説明会

建設・解体工事説明会資料

令和6年4月

事業者： PFI こしがや教育推進整備株式会社  
設計・工事監理者： 株式会社教育施設研究所  
施工者： 新日本建設株式会社



## ■計画概要

計画地 : 埼玉県越谷市川柳町一丁目198番

施設用途 : 小学校、中学校

構造 : 校舎 : 鉄筋コンクリート造  
一部鉄骨造

屋外倉庫・渡り廊下 : 鉄骨造

規模 : 地上4階建て

建物高さ : 約 15.0m

敷地面積 : 約 32,735.7㎡

建築面積 : 約 3,127.1㎡

延床面積 : 約 8,040.2㎡

鳥瞰イメージ図

## 配置・動線計画

### ■配置計画の考え方

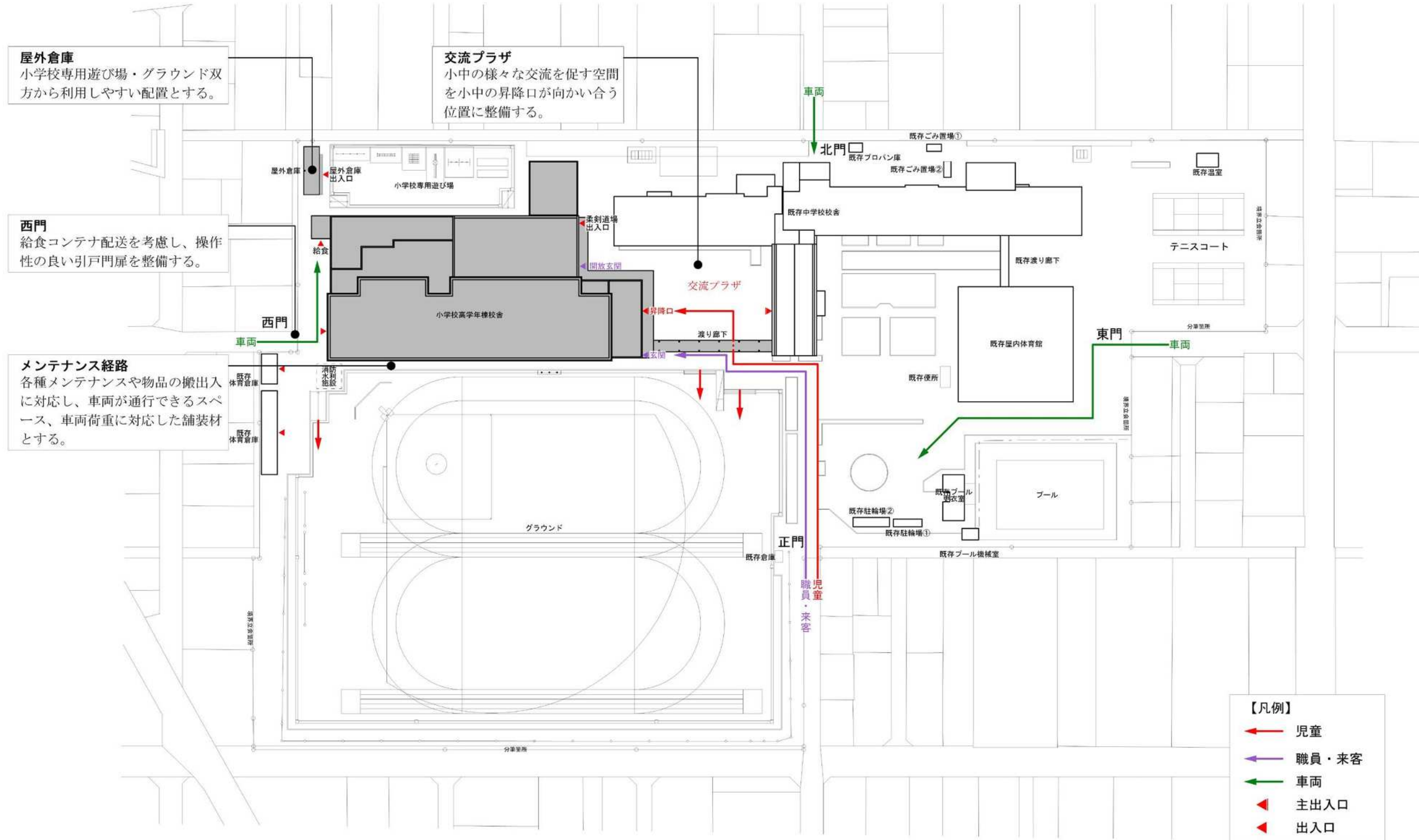
- 小学校高学年棟校舎と既存中学校校舎のまとまりを生み出すため、向かい合う昇降口と開放型渡り廊下に囲まれた「交流プラザ」を中心に一体的な整備を行う。

### ■動線計画の考え方

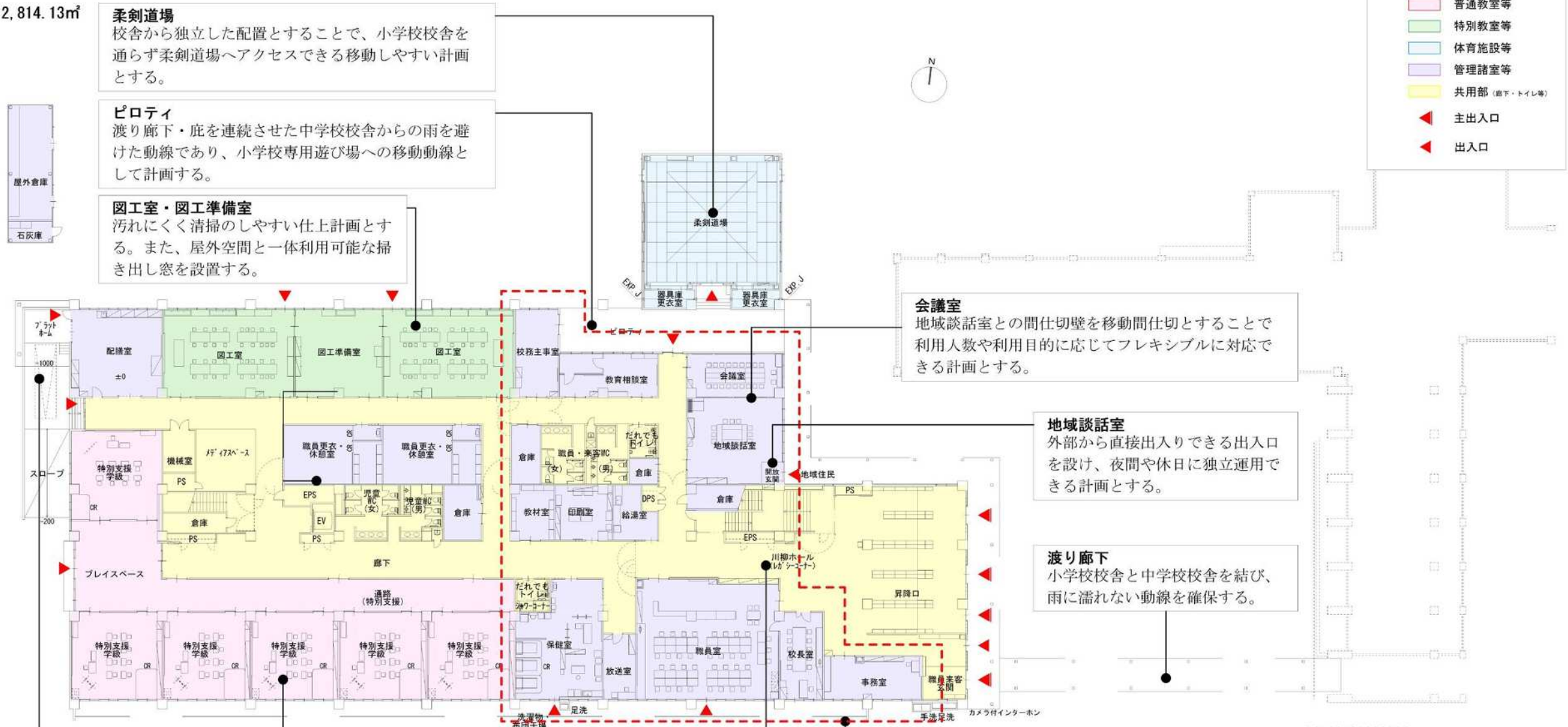
- 現状のアプローチ計画を踏襲するとともに利用門を歩行者と車両が通行する門を明確に区分し、児童・生徒が安全に移動できる動線計画とする。

### ■小中一貫校として一体的な施設整備

- 小学校高学年棟校舎と既存中学校校舎は1階部分を渡り廊下にて接続し、庇や既存校舎ピロティとの屋根の重なりにより、雨天や積雪時でも円滑に行き来でき、機能的連携を図ることのできる計画とする。
- 小中学校の昇降口が向かい合う空間を「交流プラザ」として整備し、児童・生徒が顔を合わせ挨拶をする空間、休み時間に集う空間等、様々な交流を促す計画とする。



1階平面計画：2,814.13㎡



**柔剣道場**  
校舎から独立した配置とすることで、小学校校舎を通らず柔剣道場へアクセスできる移動しやすい計画とする。

**ピロティ**  
渡り廊下・庇を連続させた中学校校舎からの雨を避けた動線であり、小学校専用遊び場への移動動線として計画する。

**図工室・図工準備室**  
汚れにくく清掃のしやすい仕上計画とする。また、屋外空間と一体利用可能な掃き出し窓を設置する。

**会議室**  
地域談話室との間仕切壁を移動間仕切とすることで利用人数や利用目的に応じてフレキシブルに対応できる計画とする。

**地域談話室**  
外部から直接出入りできる出入口を設け、夜間や休日に独立運用できる計画とする。

**渡り廊下**  
小学校校舎と中学校校舎を結び、雨に濡れない動線を確保する。

**プラットフォーム**  
配膳車両がアクセスしやすい車路とスロープを設けた計画とする。

**特別支援学級教室**  
採光の良い南向きとし、独立した通路を確保し、配膳による匂いや他教室からの音に配慮し、落ち着いた学習環境を形成する。

**川柳ホール**  
校史や地域資料等の展示ができるレガシーコーナーや大階段、昇降口廻りを小中学校、地域を含む交流や情報発信の拠点と位置づけ施設計画を行う。



川柳ホールイメージ

**ひとままとりの管理諸室**  
職員室・校長室・事務室の近接した配置とし、放送室や会議室等の管理諸室を職員室に近接したエリアに配置することで、教職員がスムーズに執務を行うことのできる計画とする。



まとまりのある配置  
機能的な管理諸室配置イメージ

3階平面計画：1,622.37㎡

**トイレ**  
全てのトイレの入口をドアレスの計画とし、清掃性が良く、明るく快適なトイレ空間とする。

**学校図書館**

各学年の児童がアクセスしやすく、校舎の中心となる2・3階に設け、直射日光を避けた北面からの採光により、快適な学習・閲覧環境を整備する。書架等の家具は転倒防止対策を講じたものを設置する。



学校図書館イメージ

**学校図書館テラス**

天気の良い日には屋外でも読書できるウッドデッキを設けたテラス空間を整備する。

2階平面計画：2,227.26㎡

**教師コーナー**

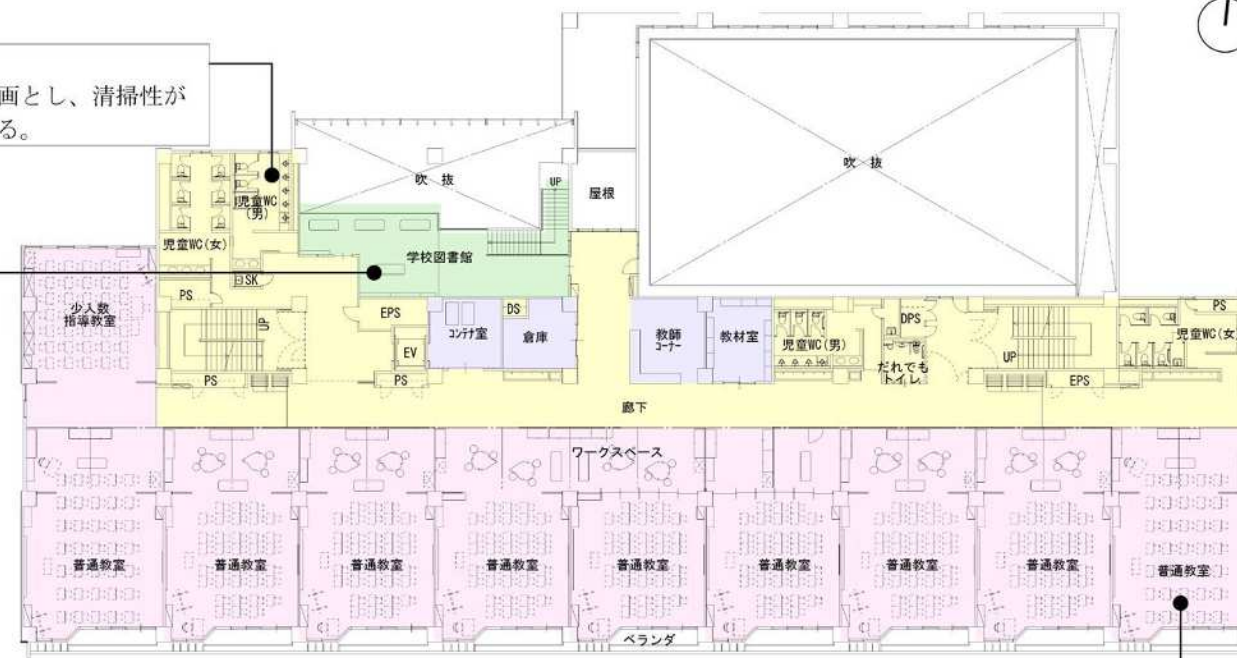
開かれたオープンカウンターを設け、児童の立ち寄りやすい教師コーナーとする。

**移動間仕切壁**

移動間仕切収納スペースを確保することで、教室廻りの自由度確保、採光通風に優れた計画とする。

**教師コーナー（教室内）**

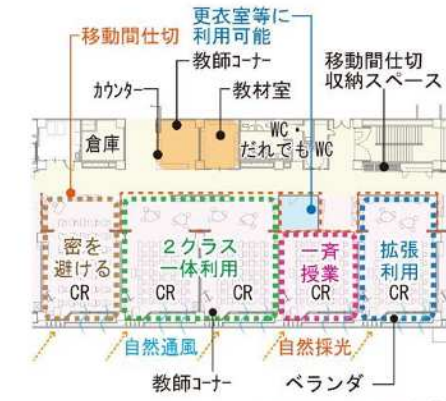
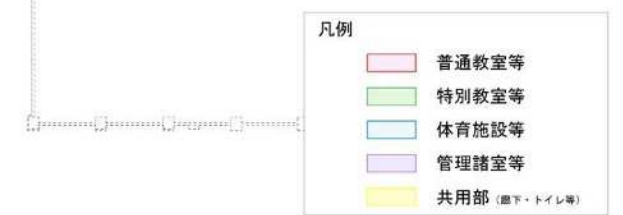
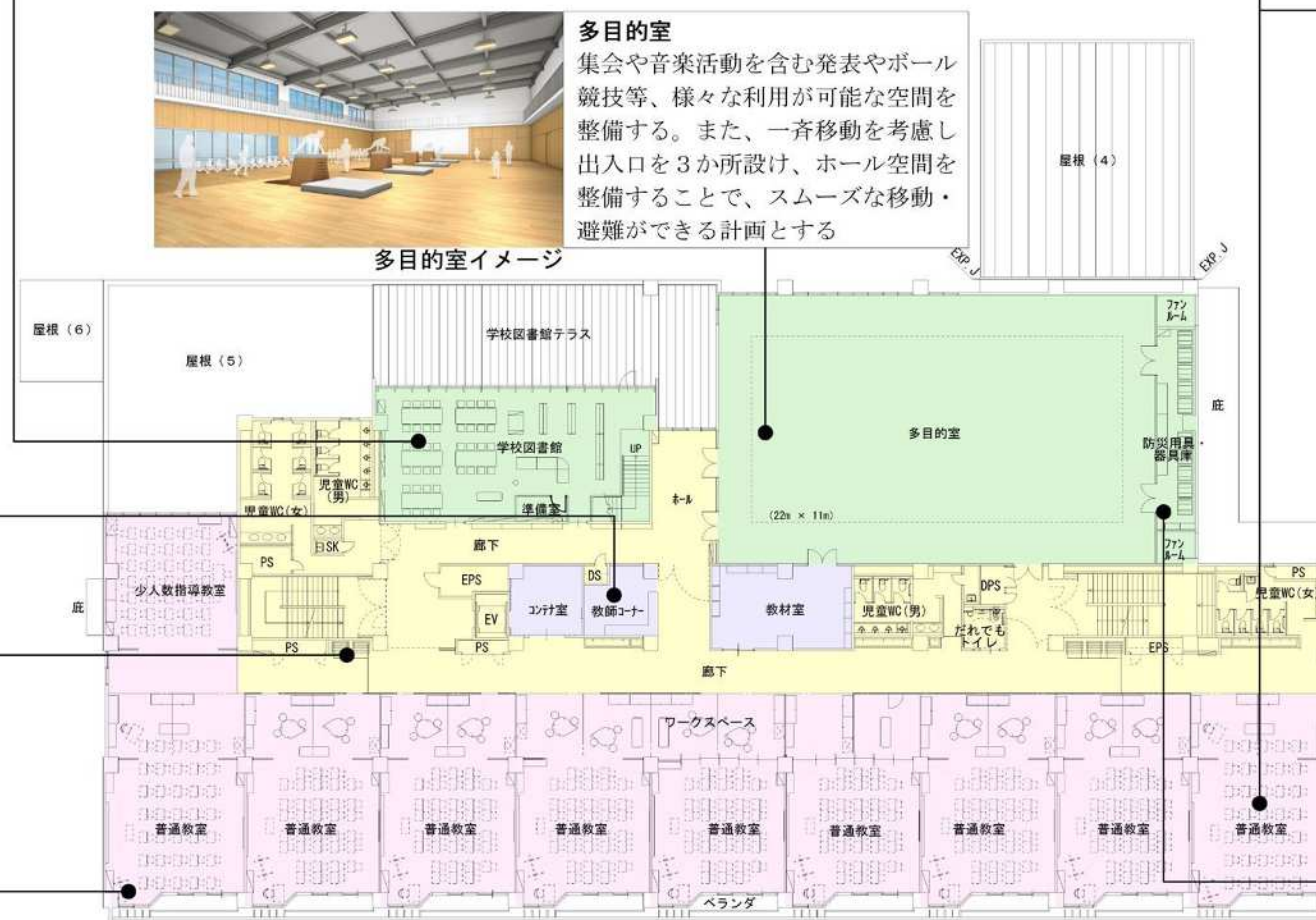
教室内の教師コーナーを8m×8mの教室寸法外に設けることで、学級担任制に対応するとともに、教室レイアウトの自由度を確保する。



**多目的室**

集会や音楽活動を含む発表やボール競技等、様々な利用が可能な空間を整備する。また、一斉移動を考慮し出入口を3か所設け、ホール空間を整備することで、スムーズな移動・避難ができる計画とする

多目的室イメージ



普通教室廻り運用イメージ

**普通教室**

全て南面に配置し、良好な日照を確保し、各階ごとに学年ごとのまとまりを大切に、利用しやすい計画とする

**ワークスペース**

ワークスペースと教室の間は引き残りを最小限に抑えた多連引戸（ガラス框戸+掲示仕様戸）で構成し教室との一体利用だけでなく、廊下と一体の交流空間としても利用できる計画とする。



普通教室廻りイメージ

**防災用具・器具庫**

ハザードマップの浸水範囲を避けた2階に避難所と想定している多目的室に隣接し、計画する。

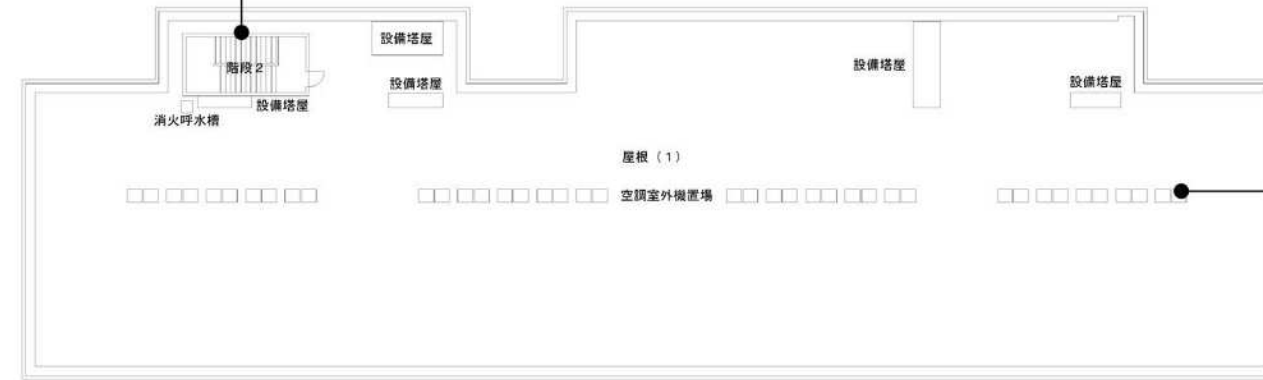
R階平面計画：26.20㎡

**風の塔**  
階段室上部に自然換気窓を設けた風の塔を設置し、ドラフト効果により効果的な自然換気を行う計画とする。



凡例

	普通教室等
	特別教室等
	体育施設等
	管理諸室等
	共用部 (廊下・トイレ等)



**空調室外機置場**  
景観に配慮し屋根中央に配置する。

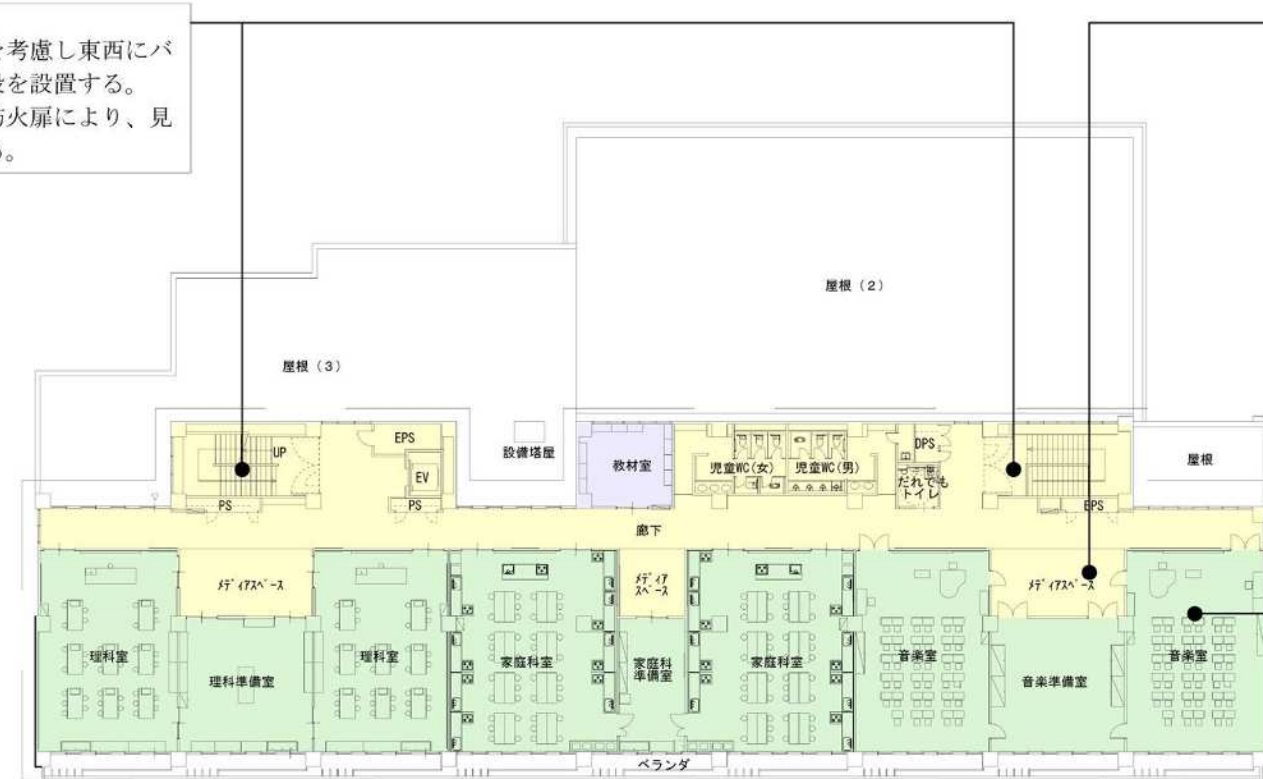
4階平面計画：1,300.21㎡

**階段**  
非常時の避難を考慮し東西にバランスよく階段を設置する。開口幅の広い防火扉により、見通しを確保する。

**メディアスペース**  
教科の展示や掲示ができる魅力的な交流・情報発信空間として整備する。



メディアスペースイメージ



**特別教室 (音楽室)**  
大きな音が出ることが想定される音楽室は校舎南東側に設け、住宅との距離を離れた計画とする。出入口の扉は開口幅の広い両開き扉とすることで、楽器運搬に配慮した計画とする。

## 1 工事概要

- (1)工 事 件 名 越谷市立小中一貫校整備 PFI 事業（仮称）川柳学園 建設・解体工事
- (2)工 事 場 所 埼玉県越谷市川柳町 1 丁目 198 番 （住居表示）
- (3)工 事 期 間 令和 6 年 6 月 1 日から令和 8 年 2 月末日まで（予定）  
【別紙「工事工程表」参照】
- (4)工 事 内 容 仮設工事・柔剣道場他解体工事・川柳小学校高学年棟校舎建設工事
- (5)事 業 者 PFI こしがや教育推進整備株式会社
- (6)設計・工事監理者 株式会社教育施設研究所  
所在地：東京都中央区日本橋本町 3 丁目 4 番 7 号
- (7)施 工 者 新日本建設株式会社  
所在地：千葉県千葉市美浜区ひび野 1-4-3

## 2 作業内容

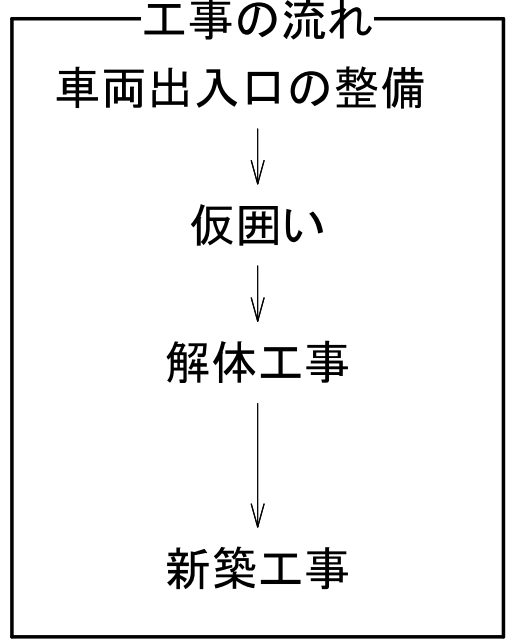
- (1)調 査 柔剣道場のアスベスト調査を行った結果、アスベスト建材等は使用されておりませんでした。
- (2)仮 設 工 事 車両出入口の整備を行い、仮囲い設置し、必要な部分に敷鉄板を設置します。
- (3)解 体 工 事 工事期間：令和 6 年 6 月 1 日から令和 6 年 8 月中旬まで（予定）  
仮囲い内にある柔剣道場、駐輪場、樹木、その他付帯設備を重機により解体し、内外装材、コンクリート塊、樹木等に分別し、場外へ搬出します。  
【別紙「仮設計画図」参照】
- (4)建 設 工 事 工事期間：令和 6 年 8 月中旬～令和 8 年 2 月末日まで（予定）  
解体工事に使用した仮囲いを使用し、建設工事を行います。

## 3 遵守事項

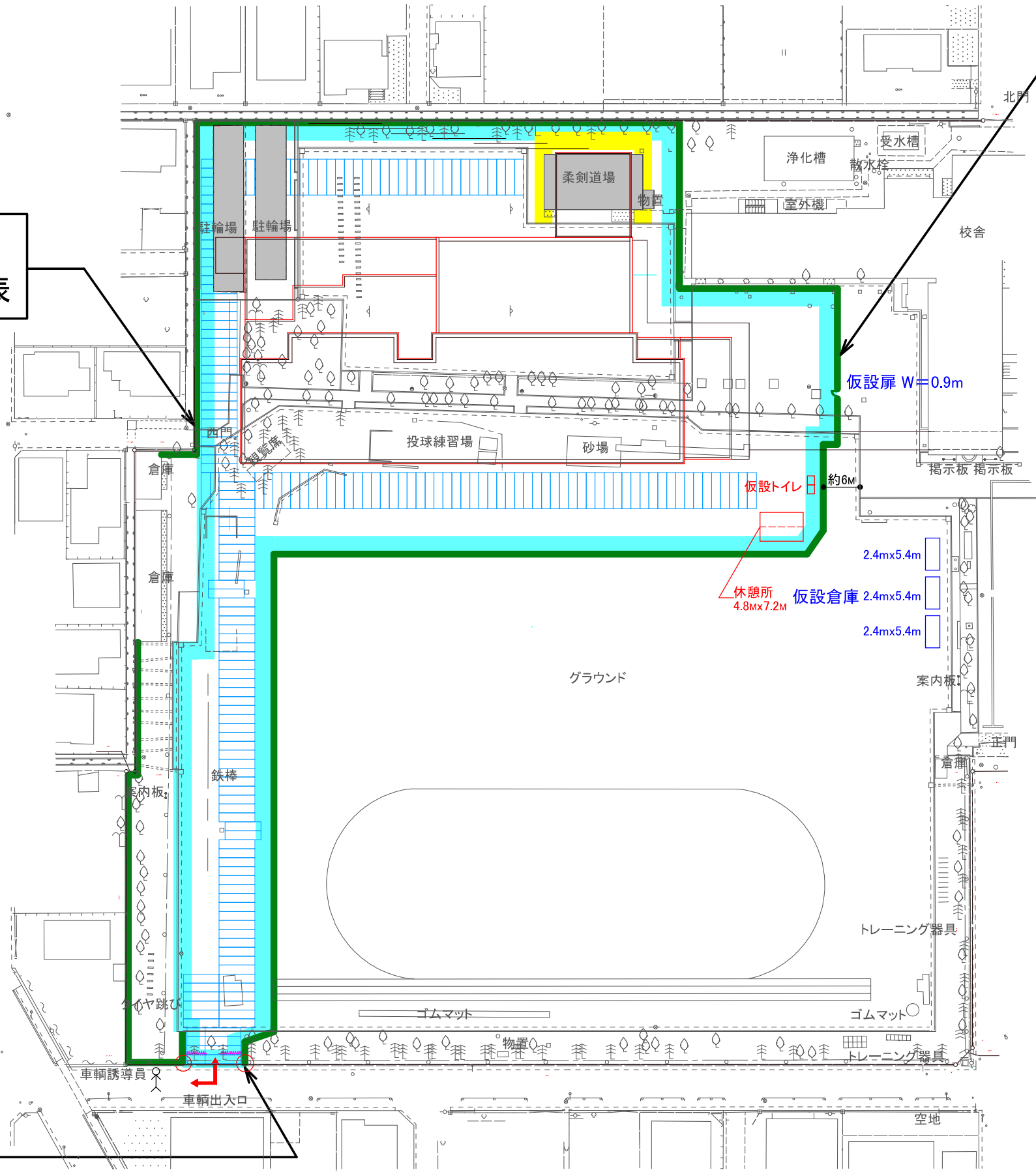
- (1)作 業 時 間 原則として、午前 8 時 00 分から午後 6 時 00 分までとします。  
ア 上記時間の前後 30 分(午前 7 時 30 分から午前 8 時 00 分・午後 6 時 00 分から午後 6 時 30 分)は、作業の点検、準備、後片付け、清掃のため、作業員が現場に入ります。  
イ 台風等非常時の緊急安全対策については、上記時間外に作業を行うことがあります。  
ウ 通勤車両や大型重機の搬入は、周辺道路の道路規制や交通渋滞緩和のため、上記時間以外に行う場合があります。  
エ 交通誘導員が工事車両出入時、通行人の誘導を致します。
- (2)日 曜 ・ 祝 日 解体工事期間中は、日曜・祝日は作業を行いません。  
建設工事期間中も原則として、日曜・祝日は作業を行いませんが、工程の都合上、日曜・祝日に作業を行う場合は、騒音振動を伴わない作業に限定し、事前に掲示板にてお知らせします。
- (3)搬 入 出 経 路 工事用車両は、【別紙「搬入出経路図」】のとおり通行します。
- (4)交 通 安 全 対 策  
ア 現場出入りロゲート等に交通誘導員を配置し、歩行者及び車両の安全確保と誘導に努めます。  
イ 運転手は安全運転を心掛けるよう指導徹底いたします。
- (5)騒音・振動対策  
ア 解体時は、解体建物周囲に防音パネルを設置し、騒音を防止します。  
イ 出来る限り、騒音・振動の発生が少ない工法や、重機を採用すると共に、慎重に作業をするように心掛けます。  
ウ 工事期間中は騒音・振動計を設置し管理を行います。  
エ 車両につきましては、アイドリングストップを励行します。
- (6)家 屋 調 査 工事に先立って近隣家屋の事前調査を行います。また、建設工事完了後には事前調査を実施した家屋を対象に事後調査を実施します。  
【別紙「家屋調査範囲図」参照】
- (7)そ の 他  
ア 粉塵が飛散しないよう、場内は適宜散水します。  
イ 周辺道路を汚さないよう、場内に洗車設備を設けます。  
ウ 道路を汚損した場合は、直ちに清掃・復旧します。  
エ 工事車両は周辺道路には駐車させません。  
オ 現場周囲は、定期的に除草、清掃を実施します。  
カ 火気の取り扱いには充分注意し、火災の防止に努めます。  
キ 工期の変更等が生じた場合は、掲示板にてお知らせします。  
ク 近隣の皆様へのご迷惑を少なくするよう最善の努力を払いますが、万が一問題が発生した場合には、誠意をもって対応いたします。  
ケ 学校の試験や年間行事等の予定を把握し、騒音・振動が発生する工事のスケジュール管理を行い、学校生活における生徒への影響を最小限にするよう努めます。

① 騒音振動計  
② 2週間工程表

① 騒音振動計  
② 2週間工程表



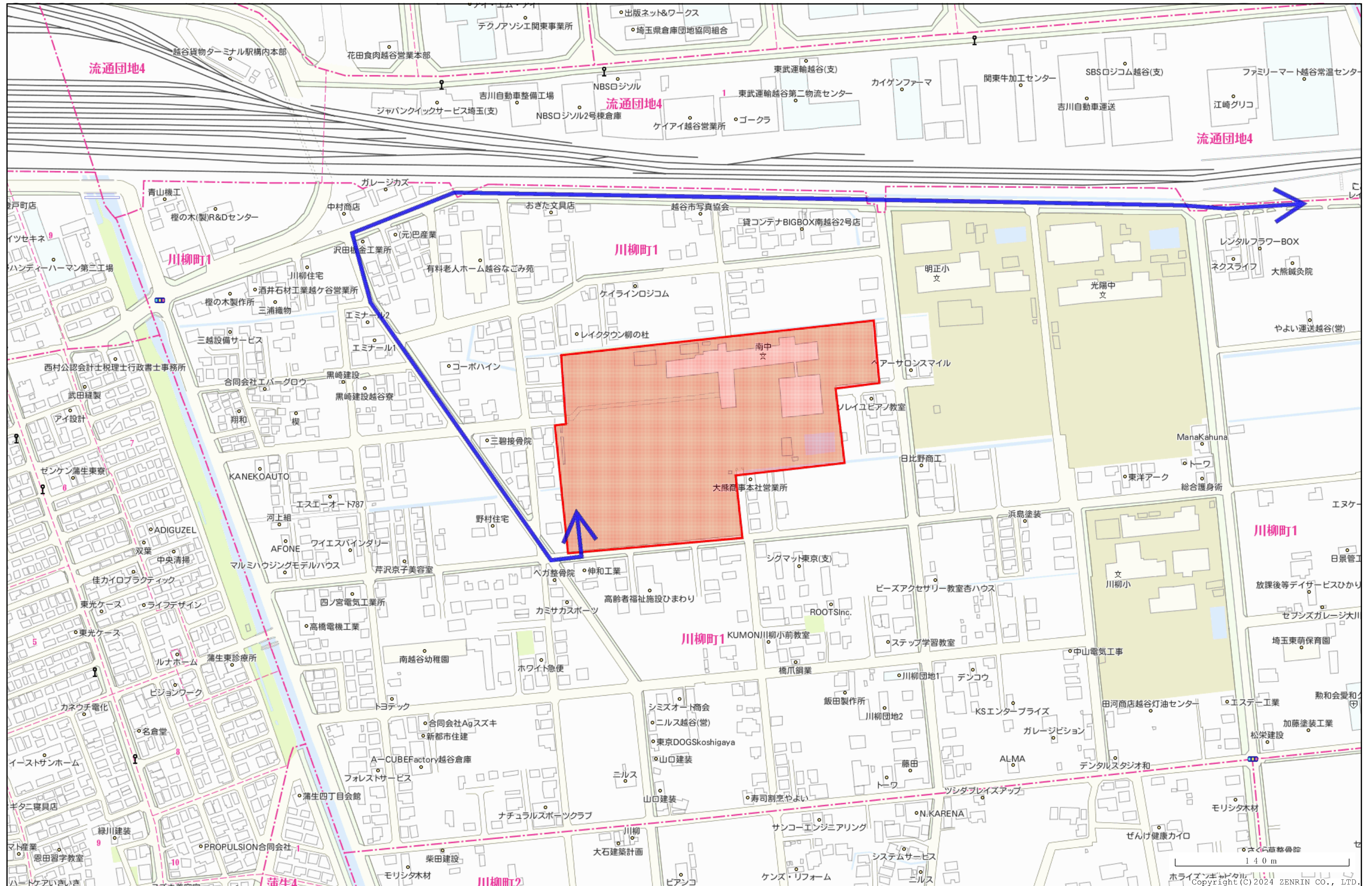
凡	例
仮囲い	<p>フラットパネル H=3.0M</p> <p>透明仮囲い H=3.0M</p>
解体時足場	防音パネル
敷鉄板	1.5M 6M
ゲート	
車両誘導員	
	新築建物
	撤去範囲



① 騒音振動計  
② 2週間工程表  
③ 車両検知回転灯



# 越谷市立小中一貫校整備PFI事業（仮称）川柳学園建設・解体工事



【別紙】搬入経路図

## 越谷市立小中一貫校整備PFI事業（仮称）川柳学園 建設・解体工事 工程表

項目	令和6年												令和7年												令和8年			
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4			
家屋調査		■																							■			
5月中の調査にご協力お願いします。		<b>事前調査</b>																						<b>事後調査</b>				
解体準備			■																									
解体工事			■	■	■																							
建設工事					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
校庭整備工事																					■	■	■	■				

特記事項：各作業工程に関しまして、労務事情・行政指導・工事障害（地中埋設物等）、天候不順等により変更又は延長となる場合がございます。  
 建築資機材の納期や調達、労務の確保や手配状況等により工期期間の見直しが必要となる場合がございます。